

	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情など)
		3 2 1		
1. 生徒会	・生徒会本部役員生徒に1900人の生徒の代表である誇りと自信を涵養する	3	週2回の会議や様々な活動を積極的にに行った。役員生徒は「生徒の代表として生徒・学校のために活動したい」との意欲が強い。さらに生徒会活動を通して自己の成長に努めている。	入学式参列・対面式挨拶部活動紹介・体験会 生徒総会・全校集会挨拶 文化祭 生徒会選挙 入試役員 卒業記念品・卒業式
	・生徒会本部役員の自主性を支援する	3	生徒の主体性を尊重する方針に基づき指導。本年度は生徒会役員生徒自主企画「歳末たすけあい街頭募金」を実施した。その他、学校行事についても役員生徒で素案を作成した。	体験入学見学ツアー 生徒主導活動実施： 歳末たすけあい街頭募金
	・生徒会の存在感を強化する	3	生徒会バッジを作成した。 新入生に生徒会周知のためのリーフレットを配布した。	生徒会バッジ 生徒会リーフレット
	・発信力を強化し、行事および日常活動についての呼びかけ・報告を頻回に行う	3	全体集会で生徒会長挨拶。 放送部と連携し行事についての呼びかけを行った。 行事や活動の呼びかけや発表に主体的な工夫が見られた。 広報課と連携しHP発信にも注力している。	生徒会長定例挨拶部活動入部呼びかけ 文化祭テーマ募集 文化祭テーマ発表 募金活動呼びかけ HP
	・評議会機能をさらに高め、学校全体の一体化と生徒会活動の強化をめざす	2	生徒総会や文化祭、“強”歩大会準備を通して評議会機能を活発化した。	生徒総会 文化祭準備 “強”歩大会準備
	・行事などを通して全校生徒の潜在能力を開発し自尊心を養う	3	行事では生徒会が中心となり多くの生徒に活躍の場を提供した。	部活動紹介・体験会 生徒総会 文化祭準備
	・外部交流を進め、地域に貢献するとともに、視野と活動の幅を広げる	2	「きさこん」活動が定着化。視野の拡充を感じた。市のキャンペーンなど地域連携活動にも積極的に参加した。さらに充実を図る。	きさこん高校生記者 未成年者飲酒防止キャンペーン参加 赤い羽根募金活動 歳末たすけあい街頭募金
2. 委員会	・各委員会活動を通して、生徒たちに仕事の喜びと責任感を涵養する	2	委員会ごとに特色ある活動を展開した。行事において生徒会本部との連携を増進した。	委員会：保健、風紀、美化、広報、体育祭実行、文化祭実行
	・委員会委員長の先生方と協力し、組織を整備するとともに活発な具体的活動を支援する	2	委員会のさらなる活発化に協力した。	行動計画書の実施
	・評議会への各委員会委員長生徒の参加を定例化する	3	行事及び全般的活動に対し、委員会サイドからのアプローチを実現した。	評議会に委員長生徒参加
	・活動報告を生徒総会・全体集会時に行い、周知させるとともに委員の意識を高める	2	体育祭実行委員長、文化祭実行委員長の存在感を向上させた。他の委員会の発進力強化に努める。	体育祭、文化祭、“強”歩大会
3. 部活動	・部活動・同好会全体加入率60%、1年生70%を目標とする	2	部活動紹介・パンフレット・入学式後の勧誘活動等、精力的に活動した。加入率は昨年度より減少。	全体加入率 : 53% 1年生加入率 : 55%
	・勧誘活動の強化策を各部と連携して講じる	2	各部との協力により勧誘活動を展開。入・退部届用紙、システムをさらに改善した。	部活動紹介・体験会パンフレット 入・退部システム
	・入退部システムの定着を図る	2	入退部システムはほぼ定着した。引き続き呼びかけを継続する。	

	・部活動報告を発信する	2	広報課に協力。生徒会長挨拶や「きさこん」での発信を継続する。	きさこん
4. 行事運営	・各行事の意義を大切にし、生徒の潜在能力の発揮・開発の場とする	3	行事の意義を踏まえ、生徒会が中心となり多くの生徒に活躍の場を提供している。体育祭「入退場門」のリニューアルを支援した。	部活動紹介・体験会 体育祭 文化祭 予餞会 “強”歩大会
	・各行事をさらに盛り上げ、企画・運営の精度を高める	3	反省をもとに、新機軸をうちだすとともに、企画書や進行表およびリハーサルを通して精度を高めた。連絡文書や打ち合わせを通して、連絡事項の徹底を図った。	部活動紹介・体験会 体育祭 文化祭 クラス企画アイデア集 冷蔵庫・シンク導入 予餞会 “強”歩大会
	・各行事の安全で安定的・円滑な運営を実施する	2	昨年度の反省、アンケートの意見をもとに、改善を図った。今年度の経験を踏まえ、さらに改善を推進する。	部活動紹介・体験会 文化祭 予餞会 “強”歩大会
	・文化祭の企画・運営を学校全体で行う仕組みを強化する	3	テーマ募集、ポスター選考を生徒主体で行った。各運動部に協力を依頼し、分担表・マニュアルなどで協力関係を明文化した。各係について、担当生徒と教員による打ち合わせをこまめに実施した。	文化祭
	・行事反省に基づき、企画を一から練り直し、改善点を模索する	3	部活動紹介の発表場所を至真殿フロアにし、ダイナミズムとスムーズな運営を実現した。 “強”歩大会コース、飲料、完歩抽選賞品の再検討を行った。	部活動紹介・体験会 “強”歩大会

(注) 自己評価： 優れている…3 適切…2 改善が必要…1